

新高知県立足摺海洋館「SATOUMI」の シンボルマーク決定について

R1.8
高知県地域観光課

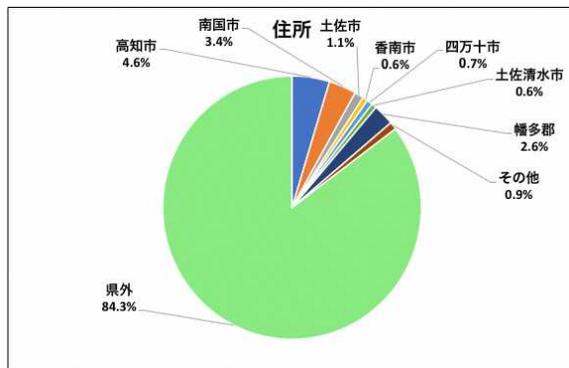
募集概要

「竜串全体が自然の大きな水族館」をテーマに2020年夏の開館を目指して現在新館を建設中の新高知県立足摺海洋館「SATOUMI」が、多くの県民や観光客のみなさまに親しみを持って利用していただけるよう、パンフレット、ホームページ、標識、案内サインなどに使用するシンボルマークを募集する。

- 募集するもの : 新高知県立足摺海洋館「SATOUMI」のシンボルマーク
- 募集期間 : 平成31年4月1日(月)～令和元年6月3日(月)
- 応募要件 : どなたでも応募可(但し、1人1点)
- 応募方法 : 直持、郵送及びメール
- 広報媒体 : 県、土佐清水市の広報紙(さんSUN高知、広報とさしみず)、テレビ及びラジオ読み上げ、チラシ及びポスター、公募専門雑誌及びウェブサイト掲載、県内外のデザイン系専門学校及び美術系大学へのチラシ送付など

応募総数 972作品 (うち県内153作品、県外819作品)

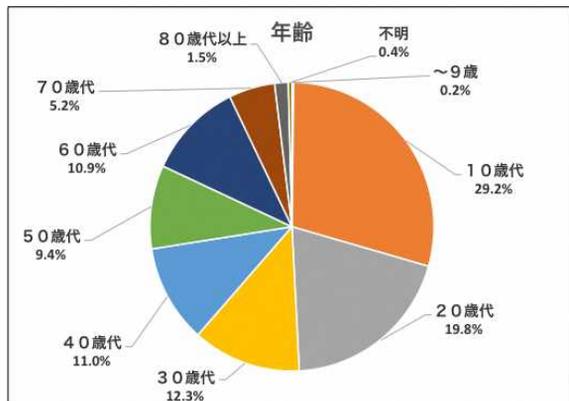
《主な内訳》



県内 15.7%
県外 84.3%

県外: 819人
高知市: 45人
南国市: 33人
幡多郡: 25人
高岡郡: 11人
土佐市: 11人
四万十市: 7人
香南市: 6人
土佐清水市: 6人
その他: 9人

全国規模の公募専門雑誌やウェブサイトにも募集記事を掲載したほか、県内外のデザイン系専門学校及び美術系大学へ直接チラシを送付したことで、県外在住の方からの応募数が多くなったと思われる。



～9歳: 2人
10歳代: 284人
20歳代: 192人
30歳代: 120人
40歳代: 107人
50歳代: 91人
60歳代: 106人
70歳代: 51人
80歳代以上: 15人
未回答: 4人

《参考》職業別応募割合
 専門学校生・大学生等 25%
 高校生以下 16%
 会社員 14%
 無職 5%
 その他 40%

応募結果

新高知県立足摺海洋館「SATOUMI」シンボルマーク選考委員による選考を行い、弁理士による商標調査等を経たうえで、最優秀賞1作品と優秀賞2作品を決定しました。

《選考過程》

◆第1次選考 [開催日:令和元年6月12日(水)]

選考方法と選考結果 :選考基準に基づき、全応募作品を対象に選考委員が札入れを実施。
札入れ数の多い作品から順に、第2次選考対象作品として32作品を選考。

◆第2次選考 [開催日:令和元年6月13日(木)]

選考方法と選考結果 :選考基準に基づき、第1次選考で選考された32作品を対象に選考委員が札入れを実施。
札入れ数の多い作品から順に上位7作品を決定したうえで、選考委員による意見交換を行い、最優秀候補作品(1点)及び優秀候補作品(2点)を決定。

◆商標調査等 [令和元年6月下旬～7月上旬]

最優秀候補作品(1点)及び優秀候補作品(2点)について、弁理士による商標調査等を実施。

◆デザイン補正 [令和元年7月中旬～下旬]

最優秀候補作品について、選考委員の意見等を踏まえ、一部デザインを補正を実施

※シンボルマーク選考要領第5において、「受賞作品は、商標調査及びデザイン補正等の結果を経て決定する。」と規定。

《選考結果》

受賞作品及び受賞者氏名等は、別紙1～3のとおり。

※最優秀賞作品を新高知県立足摺海洋館「SATOUMI」のシンボルマークとして使用します。

《参考》新高知県立足摺海洋館「SATOUMI」シンボルマーク選考委員

区分	氏名	職名	第1次選考	第2次選考
委員長	森本 忠彦	高知県美術展覧会理事長	○	○
委員	濱崎 明弘	18°Cdesign代表	○	○
委員	はちうま みほこ	オフィス・エム代表	○	○
委員	後藤 健市	(株)スノーピーク取締役		○
委員	テリー ロイド	ジャパン・トラベル(株)代表取締役		○
委員	山下 淳一	環境省土佐清水自然保護官事務所 自然保護官		○
委員	山本 明子	新高知県立足摺海洋館愛称「SATOUMI」 考案者		○
委員	新野 大	足摺海洋館館長		○
委員	三浦 謙一	高知県観光振興部副部長	○	